

ルワンダ共和国キガリ市における職業訓練の実態と地域的役割

東京学芸大学附属国際中等教育学校 6年 高田結愛

本研究の動機/目的

私は2年前から、ケニアのストリートチルドレンの社会復帰の方法として「職業訓練」を行う施設で青年海外協力隊として活動する方と連携をとり、ストリートチルドレンの課題に関する啓発活動を行うプロジェクトを立ち上げた。その活動での経験がきっかけとなり、将来は発展途上国にて生活困窮者向けの自立支援システムを構築したいというビジョンがあり、職業訓練のシステムに関心を持ったことが研究の動機である。本研究では、自立支援形態の一つである職業訓練が、当事者の生活や、地域の中でどのような役割を果たしているのかを明らかにすることを目的に、ルワンダ共和国の首都キガリ市を対象地域とし、フィールドワーク調査を行った。

調査方法

①インタビュー調査

2024年3月末~4月初めにに行った2週間のフィールドワーク調査の中で、民間の職業訓練施設を訪問し、インタビュー調査を実施した。インタビューはキンヤルワンド語と英語を話すスタッフを介して行った。対象者は以下の通り。

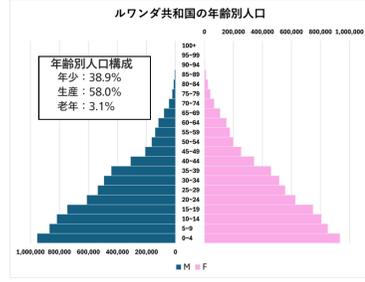
- 職業訓練施設の運営代表：施設の基本情報及び外部機関（行政）とのつながりについて
- 訓練生・修了生：訓練について（訓練が生活の中でどういった役割を果たしているのか…など）
- 講師：訓練の指導について、テイラーとしての職業について

②文献調査

アフリカにおける職業訓練について、ルワンダ共和国及びキガリに関する情報

ルワンダに関する基本情報

正式名称：ルワンダ共和国 面積：2.6万km² 人口：1,346万(アフリカ内28位) 首都：キガリ市
人口密度：511人/km²(アフリカ内1位) 言語：キンヤルワンド語・フランス語・英語・スワヒリ語
宗教：キリスト93.4%・イスラーム1.8% 民族：フツ人85%・ツチ人14%・ツワ人1%
出生率(2021)：30‰ 死亡率(2021)：6.3‰ 平均寿命(2021)：66.1歳 都市人口率(2015)：17.0%
※日本の出生率(2021)：6.3‰
合計特殊出生率(2021)：3.82 平均出産年齢(2019~20)：23歳
GDP成長率(2020~22)：9.5%/年 (アフリカ内1位)
※日本の高度経済成長期の成長率：約10%
1人当たりGNI(2021)：840ドル (アフリカ54カ国中36位)
※日本の1人当たりGNI(2021)：43,450ドル
産業別人口構成(2021)：1次54.7% 2次18.7% 3次26.7%



ルワンダの女性は若くして子どもを授かる。そのため、ルワンダの人口の特徴は、途上国で典型的に見られる富士山型であり、生産年齢人口の割合が高い。生産年齢人口において女性の割合が高いのは、1994年に起こったルワンダ内戦が理由として挙げられる。約80万人が虐殺され、これまで男性が担っていた役割を必然的に女性が担うことになり、女性の社会進出が進んだ。現在のルワンダは、日本の高度経済成長期なみに経済成長を遂げていることから「アフリカの奇跡」と呼ばれている。

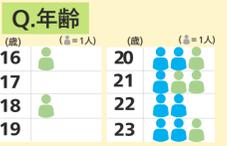
トレーニングセンターに関する基本情報

アフリカ布の「キテンゲ」を使用して実用的な縫製技術を身につけるための訓練施設である。

受け入れ条件：シングルマザーかつ若年出産であること。
受け入れ方法：地域の行政機関「アカガリ」と連携し受け入れている。
アカガリの行った家庭調査をもとに条件に合う人に声をかけ、面接をする。
期間：半年 1日のスケジュール：午前…訓練生の訓練 午後…修了生の作業
訓練修了後：就業支援は行わない。その先のキャリアにつながるようにミシンを一台無償提供する。
カリキュラム：ウガンダの職業訓練カリキュラムを参考に作成したもの。
施設全体：トレーニングセンターの横にナースリー、子ども食堂、託児所が併設されている。
そこで子どもを預かってもらっている訓練生もいる。
福利厚生：①手当：訓練生には生活支援として米と豆/それに値する現金を毎月支給している。
②食事：訓練生・修了生・講師・子どもに朝食・昼食を提供している。



対象：■訓練生…7人(全員) ■修了生…6人(一部)



最終学歴	訓練生	修了生
小学校	3	4
中学校・高校	4	2
大学	0	0



Q.訓練校を知ったきっかけ	訓練生	修了生
地域の行政機関	4	1
友達	1	1
同施設のスタッフ	0	1
元々知っていた	0	1
その他	1	4

Q.訓練を受けることになった経緯/理由
学校に通えなくなった
家で出産をした
知識を得たかった
裁縫が好き
自分で何かできるように
その他
※質問をした際に一人一人が一番最初に理由として挙げたものを集計している。「知識を得たかった」「裁縫が好き」の回答が多い
↓
学びに対する意欲がある人が多い

Q.卒業後の進路希望(訓練生向け)	訓練生
テイラー	5
その他	2

Q.トレーニングを受け始めてからの変化
【修了生】
「収入を手に入れた」
「収入を得られた」の回答多数
【訓練生】
「知識が身についた」
「他者との関わり」の回答多数

Q.暮らしの中で困っていること
【修了生】
なし
家族を失った場合の不安
職を失った時の不安
子どもの安全・健康
【訓練生】
なし
家族を失った場合の不安
子どもの安全・健康
再び妊娠した場合の不安



訓練校講師の2人は、どちらも店舗を営んでおり、訓練校の修了生を数人スカウトし、自身の店で雇用している。インタビュー結果は以下の通り。

	講師①	講師②
年齢	34	32
出身地	ギクンビ(地図を参照)	ギクンビ(地図を参照)
トレーニングセンターへの出勤頻度	毎日(平日)	週に一度
訓練校の先生になった経緯	講師の募集があったことを知り合いに教えてもらった。	以前から施設の代表と知り合いだった。
教えるようになり変わったこと	前働いていたところよりも収入が良い。	訓練を受けに来るママたちと交流をする経験が得られること。
店の場所	トレーニングセンター施設内	土産物屋が並ぶ通りの一番手前に位置する。(場所は上部の地図を参照)
店の経営で困難なことは	ミシンが安物で遅い上に弱い。卒業生を雇っているため、スピードが遅い。	顧客の需要を把握すること。態度が悪い卒業生を教えるのが大変。
雇用する卒業生を選ぶ基準	卒業する3か月前から腕前の良い訓練生を見極める。	技術はトレーニングをすれば伸びるから見ていない。一緒に成長して行けそうな人。



考察/結果

職業訓練の実態

【訓練生に対してトレーニングが与える影響】

- ・訓練生にとって…知識・能力を身につけることが出来る場であると共に、他者との交流ができる場である。
- ・修了生にとって…訓練でスキルを身につけたことが、職を手にし、収入を得ることにつながっている。
- 自立支援として存在する「職業訓練」が、若くして子どもを持つ若年のシングルマザーにとって、社会との関わりを持つ術を身につけたり、自立して職を得たりする、意義のある機会となっている。

職業訓練の地域的役割

【行政とのつながり】

【訓練生・修了生】

- ・職業訓練を受ける機会を自分自身で見つけることは困難である→彼女たちはアカガリから情報を得ている。
- ・訓練生の募集にあたり、アカガリと連携することでターゲットとしている人たちを受け入れられている

↓
トレーニングセンターとアカガリが連携するシステムが地域住民を支援する上で大きな役割を担っている。

【複合的な取り組み】

トレーニングセンターの運営主体が同じ敷地内で子ども食堂や託児所、ナースリーなどの施設も運営している。

↓
訓練生が安心してトレーニングができる環境+地域全体の子育てを支援する取り組みがなされている。

【地域産業とのつながり】

【縫製技術の習得】ルワンダは仕立てや手直しなどの縫製産業が盛んであり、街中に店が多く立ち並んでいる。縫製業は比較的ビジネスとして始めやすい。

→縫製スキルを身につけられることは職を手にするに直接的につながる。
【地域の産業】訓練校の講師の中には、この仕事がかきつけとなり地域内でビジネスを始めたことから、トレーニングセンターの存在が地域の産業に少なからず影響を与えていると考えられる。

今後の展望

調査方法：言語の違いから、意図が伝わらないことや相手の回答の意図を掘り下げることに困難を感じた。

→問いの組み立て方から調査方法など、今後の調査ではこういった点を改善していきたい。
調査対象の拡大：同じ地域の他の事例や、他地域、他国の事例も取り上げ、比較や多方面からの評価などを行う事で、包括的に自立支援の在り方としての職業訓練の価値と限界に関して研究を行ってみたい。